

## Ⅳ 公害に関する苦情処理状況

市民からの公害苦情については、大部分が大気汚染、水質汚濁、騒音等の「典型 7 公害」に関するものである。光害、熱風など日常生活において不快感を伴うものを含め、多数の苦情が市に寄せられている。

### 1 全市の公害苦情件数の推移

全市の平成 23 年度の公害苦情の受付件数は 394 件であり、これは平成 19 年度から平成 21 年度の件数とほぼ同水準であるが、平成 22 年度（316 件）と比べて増加した。

種類別にみると、大気汚染に係る苦情（野焼き、粉じん等）が 118 件と最も多く、次いで、騒音に係る苦情（工事現場の作業音等）が 101 件、水質汚濁に係る苦情（油膜が広がっている等）が 75 件と多かった。

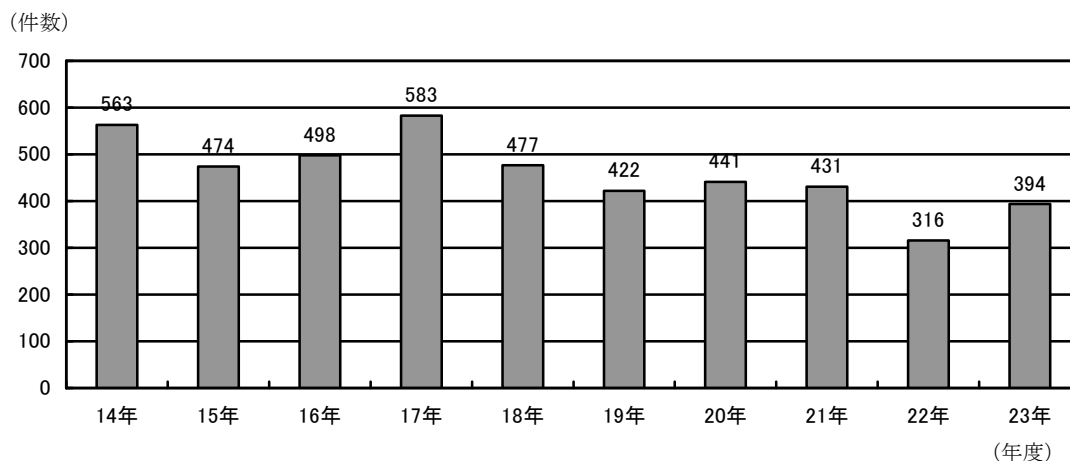


図 4－1 公害苦情件数の推移

表 4－1 種類別の公害苦情件数の推移

種類／年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
大気汚染	223	190	209	287	176	186	193	136	80	118
水質汚濁	43	20	19	15	15	8	38	123	91	75
土壌汚染	0	1	0	0	0	0	1	2	1	0
騒音	187	158	161	133	132	102	99	94	59	101
振動	23	17	24	26	38	19	18	7	10	21
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪臭	84	84	77	108	105	93	84	67	67	71
小計	560	470	490	569	466	408	433	429	308	386
その他	3	4	8	14	11	14	8	2	8	8
合計	563	474	498	583	477	422	441	431	316	394

## 2 区別の公害苦情件数

平成 23 年度の区別の公害苦情件数は、西区が 97 件と最も多く、次いで、北区が 59 件、中央区が 46 件と少なかった。

最も公害苦情件数が多かった西区において、種類別にみると、大気汚染に係る苦情が 48 件と最も多く、次いで、水質汚濁に係る苦情が 17 件、騒音に係る苦情が 16 件と多く、全市と同様の傾向がみられた。

表 4－2 平成 23 年度 区別の公害苦情件数

種類／区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計
大気汚染	5	0	7	7	36	2	5	8	48	118
水質汚濁	5	9	15	3	8	6	7	5	17	75
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	14	8	15	15	6	8	12	7	16	101
振 動	3	2	0	3	1	1	8	1	2	21
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	14	5	8	8	8	7	3	7	11	71
小 計	41	24	45	36	59	24	35	28	94	386
そ の 他	0	1	1	0	0	0	2	1	3	8
合 計	41	25	46	36	59	24	37	29	97	394

## 3 月別の公害苦情件数

平成 23 年度の月別の公害苦情件数は、6 月が 53 件と最も多く、次いで、9 月が 52 件、7 月が 43 件と多かった。

表 4－3 平成 23 年度 月別の公害苦情件数

種類／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大気汚染	5	8	13	12	13	16	10	11	7	5	13	4	118
水質汚濁	7	6	13	9	6	5	10	1	3	2	8	5	75
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	9	14	14	11	9	13	7	3	2	9	2	8	101
振 動	1	2	1	1	1	0	2	4	2	2	1	4	21
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	4	2	10	8	7	17	8	7	1	2	1	4	71
小 計	27	32	51	41	36	51	37	26	15	20	25	25	386
そ の 他	1	0	2	2	0	1	1	1	0	0	0	0	8
合 計	28	32	53	43	36	52	38	27	15	20	25	25	394

#### 4 用途地域別の公害苦情件数

平成 23 年度の用途地域別の公害苦情件数は、住居系地域において騒音に係る苦情が 59 件と最も多く、次いで、悪臭に係る苦情が 32 件、大気汚染にかかる苦情が 27 件、水質汚濁に係る苦情が 26 件と多かった。

表 4－4 平成 23 年度 用途地域別の公害苦情件数

種類／用途地域	住居系 地域	商業系			工業系				市街化 調整区 域	計
		近隣商 業地域	商業 地域	小計	準工業 地域	工業 地域	工業専 用地域	小計		
大気汚染	27	4	5	9	6	2	1	9	73	118
水質汚濁	26	2	4	6	5	2	3	10	33	75
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	59	11	19	30	3	3	0	6	6	101
振 動	17	3	0	3	0	1	0	1	0	21
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	32	9	1	10	13	5	2	20	9	71
小 計	161	29	29	58	27	13	6	46	121	386
そ の 他	4	0	3	3	0	0	0	0	1	8
合 計	165	29	32	61	27	13	6	46	122	394

#### 5 発生源別の公害苦情件数

大気汚染では、その他（野焼き等）が最も多かった。

水質汚濁では、その他（発生源が不明）が 40 件と最も多く、次いで、事業場が 23 件と多かった。

騒音に係る苦情では、建設現場が 41 件と最も多く、次いで事業場が 34 件と多かった。

表 4－5 平成 23 年度 発生源別の公害苦情件数

種類／発生源	事業場	建設現場	交通機関	一般家庭	その他 (野焼き等)	計
大気汚染	11	19	0	0	88	118
水質汚濁	23	6	4	2	40	75
土壌汚染	0	0	0	0	0	0
騒 音	34	41	10	0	16	101
振 動	2	11	8	0	0	21
地盤沈下	0	0	0	0	0	0
悪 臭	21	0	0	1	49	71
小 計	91	77	22	3	193	386
そ の 他	1	0	0	1	6	8
合 計	92	77	22	4	199	394